

公民館報

町館信日 戸常 15 円
 須公 15 円
 小田 15 円
 中成 15 円
 発行所 須田印刷所
 発行日 毎月15日
 印刷所 須田印刷所

生涯学習を求めて

—昭昭60年度の中央公民館—

事業計画

町民の皆様から日頃公民館活動にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

変化の激しい今日の社会にあって、それぞれに自己の充実、啓蒙や生活の向上のために、学問を初め、教養や趣味、技芸等身につけることが盛んになってまいりました。

中央公民館や体育施設を中心に、グループによる種々の学習活動がとみに活発になり、その活動内容も多種多様にわたり、それも各人が自発的な意思に基づいて行なわれるようになってまいりました。又青少年の社会活動においても、その中心となる地域の指導者を初め、学校や家庭の協力をえて、自由な学習活動や

各種のスポーツ活動が行なわれております。

公民館60年度の事業を行なうにあたり学校はもとより、家庭、職場や地域の協力を関係団体との連携により、あらゆる年齢層にわたっての生涯学習を重点目標として計画を立てております。

乳児期から幼少年期については、親の子どもに対する私的な教育が強く、親の自由を委ねられておる反面、子供の社会性を伸ばしていくべき役割も担っており、家庭教育に関する学習情報の提供や学級、講座による学習機会の充実を図るとともに子供達の地域活動への参加により、学習活動や生活体験の場を提供し、青年期においては、国際青



ひなげしの少女 F3号油彩 城丸明男

戦前から長年にわたって描かれてまいりました「一幅会」は、他の市町

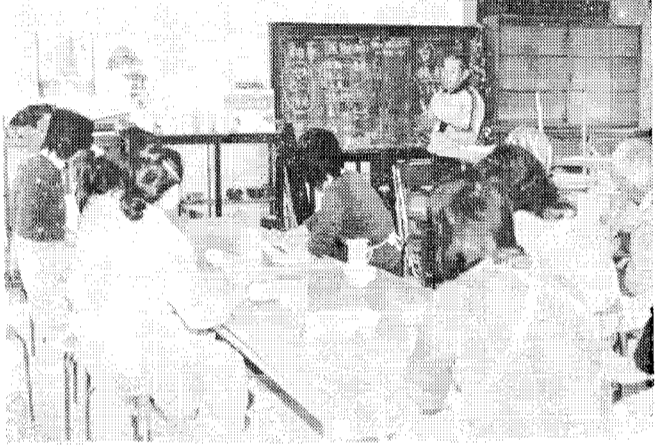
「小須戸町美術愛好会」に衣替え

思い出の「一幅会」

戦前から長年にわたって描かれてまいりました「一幅会」は、他の市町村に見られない特色のある活動で、年一回の例会には、美術品を一人一人幅づつ持ち寄り、鑑賞し合ひ、親交を深めてまいりました。しかしここ数年活動が休止の状態であったため、先人がきずかれた文化活動をなくしては、多くの愛好者からの強い要望もあり、それではと新しい時代にマッチした会に再編成し、このたび開かれた会として発足の運びとなりました。

そして多くの同好の皆様からご賛同をいただき去る三月三十一日の発足総会において日出たく「美術愛好会」が誕生することになりました。各種の美術に深い関心を持っておられる方ならどなたでも入会できますのでご一報下さい。

役員紹介
 会長 渡辺 平七
 副会長 丸山清三郎
 小柳 浩平



昨年度の幼稚園家庭教育学級 焼物教室

① 行政及び学校教育との連携を密にする。

② 公民館の強化・充実

③ 行政及び学校教育との連携を密にする。

事業計画
 一、家庭教育
 (1) 幼児家庭教育学級
 (2) 家庭教師養成講座
 (3) 青少年健全育成講座
 二、青少年教育
 (1) 親子教室
 (2) チビッコ集会(各地域で実施)
 (3) 青年講座
 三、婦人学級
 各地区の婦人団体の育成と視野を広めるための婦人学級の開設。
 四、成人教育
 (1) 高令者教室
 (2) 成人大学講座
 (3) 古文書講座
 (4) 古典講座
 (5) 朗読講座
 (6) 朗読会
 (7) 朗読会
 (8) 朗読会
 (9) 朗読会
 (10) 朗読会
 (11) 朗読会
 (12) 朗読会
 (13) 朗読会
 (14) 朗読会
 (15) 朗読会
 (16) 朗読会
 (17) 朗読会
 (18) 朗読会
 (19) 朗読会
 (20) 朗読会
 (21) 朗読会
 (22) 朗読会
 (23) 朗読会
 (24) 朗読会
 (25) 朗読会
 (26) 朗読会
 (27) 朗読会
 (28) 朗読会
 (29) 朗読会
 (30) 朗読会
 (31) 朗読会
 (32) 朗読会
 (33) 朗読会
 (34) 朗読会
 (35) 朗読会
 (36) 朗読会
 (37) 朗読会
 (38) 朗読会
 (39) 朗読会
 (40) 朗読会
 (41) 朗読会
 (42) 朗読会
 (43) 朗読会
 (44) 朗読会
 (45) 朗読会
 (46) 朗読会
 (47) 朗読会
 (48) 朗読会
 (49) 朗読会
 (50) 朗読会
 (51) 朗読会
 (52) 朗読会
 (53) 朗読会
 (54) 朗読会
 (55) 朗読会
 (56) 朗読会
 (57) 朗読会
 (58) 朗読会
 (59) 朗読会
 (60) 朗読会
 (61) 朗読会
 (62) 朗読会
 (63) 朗読会
 (64) 朗読会
 (65) 朗読会
 (66) 朗読会
 (67) 朗読会
 (68) 朗読会
 (69) 朗読会
 (70) 朗読会
 (71) 朗読会
 (72) 朗読会
 (73) 朗読会
 (74) 朗読会
 (75) 朗読会
 (76) 朗読会
 (77) 朗読会
 (78) 朗読会
 (79) 朗読会
 (80) 朗読会
 (81) 朗読会
 (82) 朗読会
 (83) 朗読会
 (84) 朗読会
 (85) 朗読会
 (86) 朗読会
 (87) 朗読会
 (88) 朗読会
 (89) 朗読会
 (90) 朗読会
 (91) 朗読会
 (92) 朗読会
 (93) 朗読会
 (94) 朗読会
 (95) 朗読会
 (96) 朗読会
 (97) 朗読会
 (98) 朗読会
 (99) 朗読会
 (100) 朗読会



長沢清四郎 佐藤隆輝
 小柳武市郎 長沢喜一郎
 森 一義 高野 清
 顧問 榎田宗賢
 相模役 柏 大治

④ 公民館の強化・充実

⑤ 公民館の強化・充実

⑥ 公民館の強化・充実

⑦ 公民館の強化・充実

⑧ 公民館の強化・充実

⑨ 公民館の強化・充実

⑩ 公民館の強化・充実

⑪ 公民館の強化・充実

⑫ 公民館の強化・充実

⑬ 公民館の強化・充実

⑭ 公民館の強化・充実

⑮ 公民館の強化・充実

⑯ 公民館の強化・充実

⑰ 公民館の強化・充実

⑱ 公民館の強化・充実

⑲ 公民館の強化・充実

⑳ 公民館の強化・充実

㉑ 公民館の強化・充実

㉒ 公民館の強化・充実

㉓ 公民館の強化・充実

㉔ 公民館の強化・充実

㉕ 公民館の強化・充実

㉖ 公民館の強化・充実

㉗ 公民館の強化・充実

㉘ 公民館の強化・充実

㉙ 公民館の強化・充実

㉚ 公民館の強化・充実

㉛ 公民館の強化・充実

㉜ 公民館の強化・充実

㉝ 公民館の強化・充実

㉞ 公民館の強化・充実

㉟ 公民館の強化・充実

㊱ 公民館の強化・充実

㊲ 公民館の強化・充実

㊳ 公民館の強化・充実

㊴ 公民館の強化・充実

㊵ 公民館の強化・充実

㊶ 公民館の強化・充実

㊷ 公民館の強化・充実

㊸ 公民館の強化・充実

㊹ 公民館の強化・充実

㊺ 公民館の強化・充実

㊻ 公民館の強化・充実

㊼ 公民館の強化・充実

㊽ 公民館の強化・充実

㊾ 公民館の強化・充実

㊿ 公民館の強化・充実

柔剣道大会成績
 (中学生)
 第30回県下柔剣道大会
 3・21 於 白根小
 三位 小須戸中学校
 第49回白根地方有段者会
 柔道大会
 3・31 於 味方体育館
 三位 小須戸中学校

横水分館だより
 分館長 木村敬三郎
 主事 池田 忠夫
 会計 高野 操
 ○第一回運営審議委員会
 四月十日午後七時三十分より小向集落センターで新年度予算、事業計画を審議しました。
 ○婦人部青少年部会
 四月十八日午後七時三十分 於小向集落センター
 ○水田老人クラブ
 四月二十四日(水) 一時三十分より
 水田集落センター
 第一回健康教室
 上田保雄さん、森田社会体育指導員さんをおまわきして開催します。
 多数御出席ください。
 健康手帳をお忘れなくご持参下さい。

昭和六十年度銃砲刀剣類登録審査会日程

一、日程
 (新潟) 八月五日(月)
 八月十七日(火)
 (長岡) 六月十七日(月)
 十月十四日(月)
 二月十七日(月)
 二、会場及び時間
 (新潟) 新潟自治労会館
 (長岡) 長岡市厚生会館

午前十時～午後三時
 三、登録審査会に持参するもの
 (1) 登録を受けようとする銃砲刀剣類
 (2) 銃砲刀剣類発見届出受理証
 (3) 登録手数料 一件につき四、五〇〇円
 (4) 印鑑

春の防犯運動

春の行楽期を迎えて発生が予想される各種犯罪を防止し、平穏な住民生活を確保するため四月十七日から四月二十六日まで県で一斉に防犯運動が実施されます。

運動の重点
 一、侵入盗の防止
 二、乗り物盗の防止
 三、万引きの防止
 この運動を盛り上げるため地域の力がたがたの御協力を願います。お出かけの時には戸締りや近所の方に一声かけると盗難防止に努めましよう。

また自転車や二輪車を置いておく場合は、エンジンキーを抜き取り、ドアやトランクは確実にロックしましょう。

新潟県持家住宅建設資金の借入申込みがはじまります

一、昭和六十年年度貸付事業について
 ① 申込み受付期間
 昭和六十一年四月十五日(月) から五月十五日(水) まで
 ② 抽選日
 昭和六十一年六月一日(土)
 ③ 借入申込み受付期間
 昭和六十一年六月七日(金) から六月二十四日(月) まで
 二、新潟県持家住宅建設資金貸付要綱の一部改正について(昭和六十一年四月一日改正)
 ① 貸付の優先条件として次の項目が加えられました。
 イ、六〇才以上の者とその親族が同居する住宅を建設する者。
 ロ、心身障害者とその親族が同居する住宅を建設する者。
 ハ、住宅性能保障制度を利用して建設する者。
 ニ、克雪住宅(住宅金融公庫の高床工事借入者に限る)を建設する者。
 ② 貸付利率及び償還期間
 年利六%で十年以内より年利六%で十五年以内とする。
 ハ、開合せ先
 ○取扱金融機関の窓口(最寄の金融機関)
 ○県土木部建築住宅課
 電話 0252(23)5511 内線 3493



好評折り紙動物園

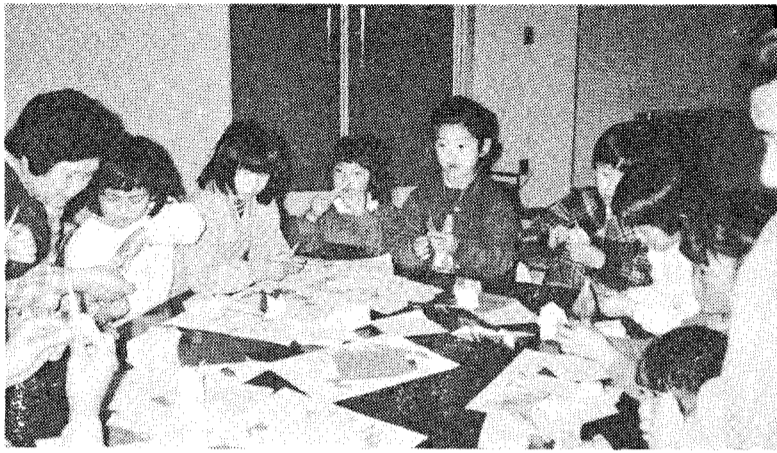
青年有志グループが開催

三月三十一日(日)の午後一時より中央公民館の三階ホールで折り紙教室の折紙動物園が開催されました。

子供達に折紙の折り方

と、楽しさを味わって、午後一時より中央公民館の三階ホールで折り紙教室の折紙動物園が開催されました。

が、約一ヶ月前より日夜会場の飾りつけ用の動物



やチューリップ、乗物などを製作し、当日の成功に向けてがんばってききました。

が、約一ヶ月前より日夜会場の飾りつけ用の動物

催しものご案内



残雪の五頭山へ登ろう

五月五日の子どもの日にまだ残雪のある五頭山へ登ってみませんか、次により申し込んでください。

期日 五月五日(日)

子どもの日

集合時間 午前七時三十分

集合場所 中央公民館前

募集人員 三十名

参加費 二、〇〇〇円

申し込み 四月三十日

申し込み場 中央公民館

本町一 風間 進

本町四 木村 祐三

柔剣道振興会

会だより

ママさん昇段おめでとう。

3 17 於新津市

二段 諸橋千恵子

初段 大竹とも子

丸山 厚子

城丸さつき

鈴木 洋子

風出恵美子

第四十六回町民魚つり大会

大物賞は誰の手に

日時 四月二十一日(日)

午前四時五十分中

中央公民館前集合

前五時出発

場所 西蒲内野町地内

入賞 一位より五位まで

大物賞、PP賞あり。

経費 参加費 五〇〇円

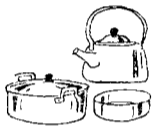
申し込み 四月六日(木)

申し込み場 中央公民館

本町一 風間 進

本町四 木村 祐三

新会員募集



川柳教室へ参加しませんか

「誰れでも作れる川柳の作り方」と題して、今年度より開催する川柳教室の開式が四月五日(金)に行なわれました。

公民館長のあいさつより始まり、早速五泉市の夏井たつやさんより講話をしていただきました。

川柳とは、約束ことのない生活詩で、社会風刺ユーモアなどの要素がある、まずいばん身近な題材をテーマにして川柳を作ってみましょうと「誰れでも作れる川柳の作り方」を例題を交えてご指導いただきました。

とても勉強になる教室です。あなたも参加してみませんか。

申込 中央公民館へ電話

住所・氏名を申し込み下さい。

(TEL)三八二二(三四)

女声コーラス会 員募集

お腹の底から声を絞り出し、健康とストレス解消。そして仲間作りを目指しあなたも女声合唱団に参加して下さい。

練習日 毎週水曜日

会場 中央公民館

会費 二月、五〇〇円

申し込み 中央公民館へ

電話で申し込み下さい。

小須戸分館書道教室募集

練習日 毎月第一第三金曜日午後七時より

練習していただきますので、おいでください。

練習日 毎週水曜日

会場 中央公民館二階会議室

会費 二月、一〇〇円

(本代共紙は実費)

講師 坂井清風先生

申し込み先 中央公民館

百日運動達成

一人でも多くの方々に参加していただくために、今度もいろいろな事業を計画しております。

新潟県教育委員会主催、本町教育委員会共催の「家族そろって百日運動」を健康・体力づくりとして町民の皆さんへ推進してまいりました。

今回、県より百日運動を達成された家族二十四家族(五十四名)の方々に認定証が贈られました。おめでとうございました。

健康教室開催

小向婦人会

去る三月十七日(日)、小向集落開発センターにおいて、「みどりの野菜を食べてみよう」をテーマに健康教室が開催されました。保健婦さんの話と食事調査、また食生活改善推進委員による試食などが行われ、ふだん何げなく食べている野菜について色々と話合いがなされました。特にみどりの野菜については、そのすまに健康教室が開催されました。保健婦さんの話と食事調査、また食生活改善推進委員による試食などが行われ、ふだん何

短歌

雪しまく巻に響く海鳴りを独りバス停に足踏みて聞く(五十九年度県芸術文芸委員会入選)

田の原の遠つひるこり春をめて登校の道は村に つづけり 伊藤 照溪

公民館報が新しくなります。

○文字が大きく見やすくなります。

○写真が鮮明になります。

あなたも川柳教室へ参加しませんか

「誰れでも作れる川柳の作り方」と題して、今年度より開催する川柳教室の開式が四月五日(金)に行なわれました。

公民館長のあいさつより始まり、早速五泉市の夏井たつやさんより講話をしていただきました。

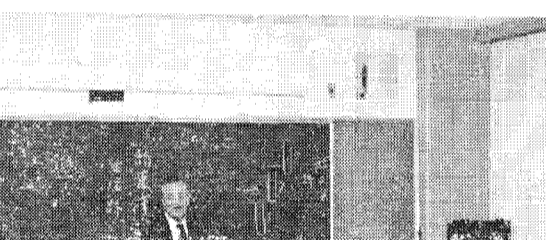
川柳とは、約束ことのない生活詩で、社会風刺ユーモアなどの要素がある、まずいばん身近な題材をテーマにして川柳を作ってみましょうと「誰れでも作れる川柳の作り方」を例題を交えてご指導いただきました。

とても勉強になる教室です。あなたも参加してみませんか。

申込 中央公民館へ電話

住所・氏名を申し込み下さい。

(TEL)三八二二(三四)



文化講演会終る

去る三月十七日(日)中央公民館三階ホールにおいて、教育委員会主催、中央公民館・文化協会主催の文化講演会が開催されました。

講師には良寛の研究において第一人者の新潟市野野町渡辺秀英先生より「良寛の書」と題してご講演いただきました。

三月例会作品

小須戸町俳句同好会

雪解露遙けし村を隠しけり
炭火の香少し逃がして友待り
国道に埃まともに残る雪
ふきのとう二度ほど摘むと師の便り
春寒し 軒灯す暮の家
計の記事の数えきれず二月尽
露の響かくせり昨日よりの雪
師の句碑の雪間に立ちて風生忌
口帰りの旅あつげな短氷柱
水餅の水張り替えて厨終ゆ
伏し竹の立ち直りゆく雪解風
ふきのとう 境界線は藪の中
川なりに一と村光る猫柳
残雪や雉のこえする河川敷
雪払ひつつ改札の列に入る

露 春
野 萩
太 浪
久 子
芳 人
香 月
紀 男
素 糸
松 山
良 遊
ミ 逆
虚 秋
可 津 朋
秀 穂
越 楼
富 沙子

春の雪

関根正樹

弥生も末の七日、芭蕉が千住から奥の細道の旅に発ったと同日に、娘たちと松島を訪れた。空はどんより曇り、今にも雨の落ちそうな昼時、風まだ寒く、首をすぼめて、先ず瑞穂寺境内を歩く。赤い橋を渡り始めると、冷い風とともに雪となる。東北の雪のひとひらの大きさに驚く。たちまちにして真冬の候のような降りよう。あつげにとられ食堂へ逃げ込む。雪の止む気配なし。一瞬にして雪の松島と化する。なんとか詠みたいと思うのだが、思うようにならない。

同行した娘の友達と話していた。「東北のほんとの春は大雪の後に来るとです。なるほどと思う。こちらで言う「春一番」と呼ばれる「風」にあたるのだ。やっと一句詠むことができた。

東北の春は突如の雪の後

健康教室開催

小向婦人会

去る三月十七日(日)、小向集落開発センターにおいて、「みどりの野菜を食べてみよう」をテーマに健康教室が開催されました。保健婦さんの話と食事調査、また食生活改善推進委員による試食などが行われ、ふだん何げなく食べている野菜について色々と話合いがなされました。特にみどりの野菜については、そのすまに健康教室が開催されました。保健婦さんの話と食事調査、また食生活改善推進委員による試食などが行われ、ふだん何

百日運動達成

一人でも多くの方々に参加していただくために、今度もいろいろな事業を計画しております。

新潟県教育委員会主催、本町教育委員会共催の「家族そろって百日運動」を健康・体力づくりとして町民の皆さんへ推進してまいりました。

今回、県より百日運動を達成された家族二十四家族(五十四名)の方々に認定証が贈られました。おめでとうございました。

催していただきました分館婦人学級では、今年もまた婦人学級生を募集いたします。ぜひ参加していただくようご案内申し上げます。

小須戸分館婦人学級生募集

昨年新しく発足し、開

あなたも川柳教室へ参加しませんか

「誰れでも作れる川柳の作り方」と題して、今年度より開催する川柳教室の開式が四月五日(金)に行なわれました。

公民館長のあいさつより始まり、早速五泉市の夏井たつやさんより講話をしていただきました。

川柳とは、約束ことのない生活詩で、社会風刺ユーモアなどの要素がある、まずいばん身近な題材をテーマにして川柳を作ってみましょうと「誰れでも作れる川柳の作り方」を例題を交えてご指導いただきました。

とても勉強になる教室です。あなたも参加してみませんか。

申込 中央公民館へ電話

住所・氏名を申し込み下さい。

(TEL)三八二二(三四)

文化講演会終る

去る三月十七日(日)中央公民館三階ホールにおいて、教育委員会主催、中央公民館・文化協会主催の文化講演会が開催されました。

講師には良寛の研究において第一人者の新潟市野野町渡辺秀英先生より「良寛の書」と題してご講演いただきました。

三月例会作品

小須戸町俳句同好会

雪解露遙けし村を隠しけり
炭火の香少し逃がして友待り
国道に埃まともに残る雪
ふきのとう二度ほど摘むと師の便り
春寒し 軒灯す暮の家
計の記事の数えきれず二月尽
露の響かくせり昨日よりの雪
師の句碑の雪間に立ちて風生忌
口帰りの旅あつげな短氷柱
水餅の水張り替えて厨終ゆ
伏し竹の立ち直りゆく雪解風
ふきのとう 境界線は藪の中
川なりに一と村光る猫柳
残雪や雉のこえする河川敷
雪払ひつつ改札の列に入る

露 春
野 萩
太 浪
久 子
芳 人
香 月
紀 男
素 糸
松 山
良 遊
ミ 逆
虚 秋
可 津 朋
秀 穂
越 楼
富 沙子

春の雪

関根正樹

弥生も末の七日、芭蕉が千住から奥の細道の旅に発ったと同日に、娘たちと松島を訪れた。空はどんより曇り、今にも雨の落ちそうな昼時、風まだ寒く、首をすぼめて、先ず瑞穂寺境内を歩く。赤い橋を渡り始めると、冷い風とともに雪となる。東北の雪のひとひらの大きさに驚く。たちまちにして真冬の候のような降りよう。あつげにとられ食堂へ逃げ込む。雪の止む気配なし。一瞬にして雪の松島と化する。なんとか詠みたいと思うのだが、思うようにならない。

同行した娘の友達と話していた。「東北のほんとの春は大雪の後に来るとです。なるほどと思う。こちらで言う「春一番」と呼ばれる「風」にあたるのだ。やっと一句詠むことができた。

東北の春は突如の雪の後

健康教室開催

小向婦人会

去る三月十七日(日)、小向集落開発センターにおいて、「みどりの野菜を食べてみよう」をテーマに健康教室が開催されました。保健婦さんの話と食事調査、また食生活改善推進委員による試食などが行われ、ふだん何げなく食べている野菜について色々と話合いがなされました。特にみどりの野菜については、そのすまに健康教室が開催されました。保健婦さんの話と食事調査、また食生活改善推進委員による試食などが行われ、ふだん何

百日運動達成

一人でも多くの方々に参加していただくために、今度もいろいろな事業を計画しております。

新潟県教育委員会主催、本町教育委員会共催の「家族そろって百日運動」を健康・体力づくりとして町民の皆さんへ推進してまいりました。

今回、県より百日運動を達成された家族二十四家族(五十四名)の方々に認定証が贈られました。おめでとうございました。

短歌

雪しまく巻に響く海鳴りを独りバス停に足踏みて聞く(五十九年度県芸術文芸委員会入選)

田の原の遠つひるこり春をめて登校の道は村に つづけり 伊藤 照溪

公民館報が新しくなります。

○文字が大きく見やすくなります。

○写真が鮮明になります。

三月例会作品

小須戸町俳句同好会

雪解露遙けし村を隠しけり
炭火の香少し逃がして友待り
国道に埃まともに残る雪
ふきのとう二度ほど摘むと師の便り
春寒し 軒灯す暮の家
計の記事の数えきれず二月尽
露の響かくせり昨日よりの雪
師の句碑の雪間に立ちて風生忌
口帰りの旅あつげな短氷柱
水餅の水張り替えて厨終ゆ
伏し竹の立ち直りゆく雪解風
ふきのとう 境界線は藪の中
川なりに一と村光る猫柳
残雪や雉のこえする河川敷
雪払ひつつ改札の列に入る

露 春
野 萩
太 浪
久 子
芳 人
香 月
紀 男
素 糸
松 山
良 遊
ミ 逆
虚 秋
可 津 朋
秀 穂
越 楼
富 沙子